

自転車での事故が増加しています！

詳しくは、警視庁発行の「自転車の正しい乗り方」をご覧ください。右の二次元バーコードから→



昨年の狛江市内での交通事故発生件数は99件（前年比20件増）で、内訳は死傷0件、重傷1件、軽傷98件でした。
事故発生件数の内、自転車での事故が半数を超える56件（前年比22件増）を占めています。

東京都では、令和2年4月1日から自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入が必要となります。
定期的に自転車の点検整備を行うとともに、交通ルールを守った安全運転を心がけましょう。

自転車安全利用五則

- ①自転車は、車道が原則、歩道は例外
(歩道に自転車通行可の標識がある場合は通行することができます。)
- ②車道は左側を通行
- ③歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④安全ルールを守る
・夜間はライトを点灯
・一時停止などの標識を遵守 など
(ともに違反すると罰則の対象)
- ⑤子どもはヘルメットを着用

その他、下記の禁止事項は、罰則の対象となっています。

- ・ブレーキ不良
(備えていない)
- ・自転車運転
- ・傘差し運転
- ・携帯電話使用運転
- ・イヤホン等使用運転

5万円以下の罰金

- ・飲酒運転

5年以下の懲役又は
100万円以下の罰金
(酒酔いの場合)

- ・並進走行
- ・二人乗り

2万円以下の罰金又は科料

交通災害共済「ちよこっと共済」

東京都の39市町村が共同で運営する「ちよこっと共済」は、住民の皆さんが会費を出し合い、交通事故に遭った時、見舞金を受けられる助け合いの制度です。万が一の事故に備えて加入を検討してみたいかごでしょうか。

対象者 市内在住で住民登録のある方

共済期間 4月1日～令和3年3月31日

※年度途中に加入した場合は、申し込みの翌日から共済期間終了日までとなります。

会費(年額) Aコース1,000円 または Bコース500円

詳細はちよこっと共済ホームページをご覧ください。



問い合わせ先：道路交通課交通対策係 ☎03-3430-1111内線2521・2522

自転車損害賠償保険

令和2年4月1日から自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入している必要があります。(東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例の改正)

自転車利用者：自転車の利用によって生じた他人の生命又は身体の損害を賠償する
自転車損害賠償保険等に加入しなければなりません。

※保護者は未成年のお子さんが利用する場合も、加入しなければなりません。

自転車損害賠償保険等への加入状況をチェック！

点検日から1年以内のTSマークが貼られている方や、個人賠償責任保険が付帯されている保険に加入されている方は、すでに自転車損害賠償保険等に加入している場合があります。自転車や保険の加入状況を確認しましょう。

問い合わせ先：東京都都民安全推進本部総合推進部交通安全課 ☎03-5388-3127



自転車の盗難に気をつけましょう！

平成31年・令和元年中の狛江市内での刑法犯認知件数は、前年より17件少ない361件でしたが、その中でも非常に多くの割合を占めているのが自転車盗難です。自転車盗難は129件で、狛江市内刑法犯認知件数全体の3分の1以上を占めています。

自転車盗難の傾向

警視庁HPによると平成30年中の自転車盗難の発生場所で最も多かったのが「住宅」の敷地内で42.1%を占めており、次いで、「道路上」(25.9%)、「駐車場・駐輪場」(25.2%)の順となっています。

また、57.6%が鍵をかけていない状態で被害に遭っています。

盗難された自転車はひったくりなどの犯罪に使用されることもあります。

自転車盗難への防犯対策

- 自転車から離れる時は短い時間でも必ず鍵をかけましょう。
- 自宅や駐輪場などでも鍵をかける習慣をつけましょう。
- 防犯性の高い補助錠も使用し、二重で施錠をすることも有効です。
- 防犯性能の高い錠に交換するなど防犯効果を高めましょう。
- 必ず自転車防犯登録をしましょう。

防犯性能の高い
シリンダー錠！



補助錠などを使って
二重ロック！



住宅火災で亡くなる方が増えています

火災による死者0を目指して日頃から火災予防に努めましょう

東京消防庁管内では、平成31年・令和元年中に発生した住宅火災で、108名(速報値)の方が亡くなっており、前年と比べると、22名増加しました。狛江市内でも、令和元年12月に発生した住宅火災で1名の方が亡くなっています。

死者が発生した火災の出火原因は、たばこ、ストーブが半数を占めています。

東京消防庁及び狛江消防署管内の火災件数等

	東京消防庁管内			狛江消防署管内		
	令和元年 (速報値)	平成30年 (確定値)	対前年比 増 減	令和元年 (速報値)	平成30年 (確定値)	対前年比 増 減
火災件数	4,084件	3,973件	111件	19件	21件	-2件
焼損床面積	18,356㎡	18,604㎡	-248㎡	161㎡	41㎡	120㎡
火災による死者	108名	86名	22名	1名	0名	1名
火災による傷者	705名	798名	-93名	3名	3名	0名

(出典：東京消防庁ホームページ)

平成31年・令和元年中に死者が発生した住宅火災の出火原因

(速報値)

出火原因	件数
たばこ	35件
ストーブ	9件
放火	8件
こんろ	3件
ロウソク	2件
その他	3件
不明	23件

